

## すべり台「したからのはらない」 事故防止に子供向けシール

国交省は「設置する側と利用する側がそれぞれ安全への意識を高めることで事故が減つてくれれば」と表示シールが事故の減少につながることを期待している。

国土交通省によると、公園の遊具で一ヵ月以上のけがを負った事故は、二〇〇二年度までの六年間で七十四件。子育てを支援する約三千八百団体で組織する「全国地域活動連絡協議会」も、夏休みを前に全国三十二都道県で公園の遊具の安全点検を始めている。

シールは直径二十四㌢の円形に対象年齢を大きく示したもののはか、すべり台では「したからのぼらない」「たつたまますべらない」など、遊具ごとに注意を書いたものを作製。出入り口付近に掲示する大型版では、事故が起きたときの連絡先や最寄りの公衆電話までの地図も表示する。

遊具の支柱などに張り付け、子供に注意を促して事故を減らす狙い。加盟メーカーや公園を管理する全国の自治体に協力を求める。

シールは直径二十四㌢の円形に対象年齢を大きく示したもののはか、すべり台では「したからのぼらない」「たつたまますべらない」など、遊具ごとに注意を書いたものを作製。出入り口付近に掲示する大型版では、事故が起きたときの連絡先や最寄りの公衆電話までの地図も表示する。

箱プランコや雲梯など公園の遊具による事故が相次いだのを受け、メーカーなどの業界団体「日本公園施設業協会」はこのほど、遊具の対象年齢や遊ぶときの注意点が一目で分かる子供向けの表示シールを作った(写真)。



2003年  
7月29日火

発行所  
北海道新聞社  
〒060-8711  
札幌市中央区大通西3丁目6  
電話 011-221-2111